

小噺・落語入門サロン

■ 前 座 (今日の話題・話のネタ) 馬偏の漢字



落語歳時記シリーズ

睦月（1月）の落語 「初天神」

1月25日。今年初めて天満宮に参拝に出かけようとする父親。その姿をみるや、女房が息子も連れてってくれと頼む。あれがほしい、これがほしいと駄々をこねるので断ろうとする。何もねだらないことを条件に初天神に連れて行くことにした。

いざ、初天神につくと息子はさっきの約束も忘れ、いつものようにおねだりしだした。

結局静かにさせるために飴玉を買うことにした。飴玉のつぎに団子、そして、大きな凧を

買ってくれとまたねだる。父親は店主と息子の圧力にやられしぶしぶ凧を買ひ、少し広い場所で凧揚げをする。

しかし、凧揚げをする段階になると父親の様子が変わってきた。

実は父親は子供の頃から凧揚げが得意。ちょっとかしてみろと息子のもってる凧を奪ひ、凧をあげ始めた。

「どうでえ、うめえもんだろ。ほれ、こんなこともできるぞお」

父親は息子そっちのけですっかり夢中になってしまう。

息子は「僕にも凧を揚げさせてくれよー。ねえねえ」と凧を貸してもらおうと催促する。

「おいこら、やめろ。これは俺の金で買ったもんだ。お前にはまだ早い！いいから見てろ」と凧を全然渡そうとしない。

そんな父親をみて息子は嘆く「こんなことなら、親父なんか連れてくるんじゃなかった」と。」



■ 二つ目 (小咄の稽古)

映像や音声から学ぶ、小ばなしのコツ・つぼ

「プロに学ぶ小噺の話し方」落語の時間 “星野屋（おっかない噺）”

そのあと、皆さんの小ばなし披露とアドバイス

■ 大喜利

今回も 謎かけ で、お題は「馬（午）」「カレンダー（暦）」

次回は2026年2月2日（月） 場所：万世橋区民館8F 洋室 ㊦

次回のなぞかけのお題は「梅の花」「レンコン（蓮根）」